



アシスティブ テクノロジー



iPadアプリ紹介



アシスティブテクノロジーって？
障害者の生活を助けるテクノロジー
道具を使って不便なところを補い、
生活を楽しみ！



シンプルテクノロジー

わずかな動きに反応するスイッチ
を利用しておもちゃや電気製品を
動かすこと



Cause and Effect Sensory Light Box

タッチすると
音と映像が流れる



自立活動



Magic Piano



「Magic Piano」「Cause and Effect Sensory Light Box」です。
いろいろな音や幻想的な映像が出てきます。
中には、柔らかな音が鳴る物があります。

利用場面

緊張が強かった生徒が、自分で力を抜くことができるようになってきたときに利用しました。

iPad がどこにあるか分かるように、膝の上に置きます。
緊張を抜いて、手を下に動かすと、iPad に手がふれる。
そうすると、Pad からお気に入りの音が鳴り始めることが分かって
緊張を抜いて遊ぶことができました。



こどもパズル

120円

動画

生徒が気に入ったアプリです



「子供パズルです」

利用場面

自立活動の時間に利用していた物です。

iPad にとても興味があり、使うことが大好きな生徒で、手の動きが少しぎこちない生徒ですが、
タッチしたい場所をしっかりとねらうようになったり、ドラッグしたいところへ上手にドラッグしたりするようになりました。
無料の物で試した後に、もっとしたいからと、有料の物を購入しました。分かりやすく、枠の中に吸い込まれるので、やりやすいアプリだったのでお気に入りでした。

「にほんごーひらがな」です。
文字を書いたり、かるたで遊んだりできるアプリです。

iPadアプリ「にほんごーひらがな」



文字練習



かるた



文字の練習、並び替え
かるた取りができる。

並び替え

動画

利用場面

○肢体部門で、鉛筆を持ちにくい生徒に利用しています。

書き終わると、ご褒美画面が出るので良いそうです。

文字のかるた取りにも利用しました。

○知的障がい部門の生徒は、なぞり書きを練習しました。鉛筆を持つことを嫌がっていた児童に、「文字が書けたら」という思いで、利用しました。興味をもつようにカルタ取りや文字の並び替えを行いました。教師がなぞり書きのお手本を見せて、少しずつなぞり書きをしていきました。半年後には、鉛筆で文字を書くようになりました。

SoundingBoard



朝の会に利用



1度タッチすると、音声を再生し終わるまで、タッチしても入力できません。

スイッチ対応モードがあります



できiPadでワンクリックで操作



「Soundingboard」です

1度タッチすると、途中でタッチしても、音声が終わったり、もう一度最初から再生と言うことはなく、録音した音声を最後まで再生してくれます。

利用場面

朝の会で、給食と健康観察の選択肢を作っておいて、選択させました。Soundingboardは、スイッチ対応モードで動かせるアプリです。「でき iPad」で動かすことができます。ワンクリックで、数種類の言葉が使えるのでコミュニケーションに利用しました。



ボイスオブデージー

3100円



朗読している部分がハイライト表示になり読んでいるところがはっきり分かります。

「ボイスオブデージー」です。

利用場面

「わいわい文庫」の EPUB データを iPad にいれ、いつでもみられるようにして、休み時間などに活用しています。

利点

朗読しているところがハイライト表示になります
「イーリーデー」というアプリが発売されておりこちらの方が、いろいろな操作ができるようです。



Book Creator for iPad

600円



動画

- 音声がつけられる
- 見せたいところを大きく
- 画面に注目しやすい

「Book Creator for iPad」です。

利用場面

訪問の生徒に利用しています。
本校のクラスメイトの児童の声で台詞の部分などを録音しています。

利点

写真を撮って、簡単に絵本にできるソフトです。トリミングもできます。iPadで見ると、絵本で見るより集中しやすく拡大して、見せたいところに注目させるように紹介できる利点もあります。

iPadタッチャーで音楽選択



- ・スイッチ操作で音楽を次に進める。
- ・タッチ部分がとれるので輪ゴムで固定

iPad タッチャーを使って、音楽を選択しています。

工夫

アームを使って車いすでも見やすい位置にしています。
iPad はずっと押したままでは、入力されません。
そこでスイッチに Voca を使いました。Voca は音声が出る間だけスイッチが入ります。
音声を1秒録音しておくと、ずっと押している生徒でもスイッチが切れるので、タッチしたのと同じようになります。



「DropTalk」です。

利用場面

帰りの会で「今日の話」を発表するときに、iPad アプリ「DropTalk」を使って、自分で頑張った学習を選んでタッチし、音声にして、自分の気持ちを発表しています。



「DropTalk」です。

利用場面

居住地交流場で、iPad のアプリ「DropTalk」を使って、自己紹介をしています。自作のタッチペンを使うことで自分で上手に画面をタッチできるようになりました。